

セッション : バイオテクノロジー分野 発表-1

発表者 : B.Davaaprev 博士 (モンゴル国立大学)

発表タイトル : 「モンゴルの植物・微生物由来の活性化合物と有用遺伝子とその応用」

キーワード : モンゴルの植物、活性化合物、有用遺伝子、微生物、革新的な製品

活動目標 : モンゴルの経済は長い間畜産分野に依存しており、政府は現在、国内生産を高めるために伝統的な畜産慣行を奨励している。この研究は、モンゴルのユニークな生物資源を発見・応用することを目的としている。モンゴルは厳しい気候と多様な地形のため、約 3,160 種の薬草が生息しており、その多くは家畜の飼料や薬草として使用されている。たとえば、春の家畜の飼料としてよく使用されるプルサティラ・フラベセンス(*Pulsatilla flavescens*)には、新たに発見された 3 つを含む 21 種の化合物が含まれていることがわかっている。私たちの研究は、モンゴルの植物の化学成分と生物活性の研究、モンゴルの植物の有用遺伝子の特定、およびモンゴルの内生放線菌の調査という、相互に関連する 3 つのテーマに分かれている。さらに、モンゴルの生物資源に関する研究の成果は、科学的に証明された革新的な製品の開発につながっている。

活動内容 : モンゴルの植物の生物活性化合物 : モンゴルの 24 の植物から 112 の新しい化合物が発見された

活動成果 : 革新的な製品:

試作品名 : フィトアクネジェル

効能 : ニキビの原因となるプロピオニバクテリウムアクネスや病原菌に高い効果を発揮

試作品名 : UNIQARE

効能 : 抗生物質耐性菌や口腔病原菌に対する抗菌作用

試作品名 : AntiPi

効能: 喉の抗炎症作用

試作品名 : LIVEPRO

効能 : スカピオサコモサの植物エキスを含む肝臓保護薬

試作品名 : AntiCan

効能 : アルテミシアシーベルシアナの植物エキスを含む肝臓がん治療薬

協力案 : モンゴルと日本の多数のカウンターパートとの協力可能